



ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 :

吸入すると有害
 遺伝性疾患のおそれの疑い
 肺の障害のおそれ
 長期にわたる、または反復ばく露による肺、皮膚の障害
 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
 水生生物に非常に強い毒性
 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き :

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 取り扱い後は手や顔をよく洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 環境への放出を避けること。

【応急措置】

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。吐かせないこと。
 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
 漏出物を回収すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
化学名又は一般名	: マシン油 (一般名: マシン油)
濃度又は濃度範囲	: 97.0 % (他3.0 %は界面活性剤)
分子式	: 特定できない
官報公示整理番号(安衛法)	: -
CAS番号	: -
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	: データなし

4. 応急措置

吸入した場合	: 被災者を直ちに空気の新鮮な場所へ移動させる。多量の水、温水またはうがい薬を用いてうがいをさせ医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	: 直ちに水で洗い流した後、石鹸でよく洗う。洗浄後、皮膚に異常がある場合は医師の手当てを受ける。衣服類は汚染物を洗い落として着用する。
目に入った場合	: 清浄な水で15分以上洗眼した後、痛みがあれば眼科医の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 直ちに医師の手当てを受ける。吐き出させるとかえって肺への吸引等の危険がますので吐き出させてはならない。水でよく口の中を洗わせてもよい。



5. 火災時の措置

消火剤	: 粉末消火剤、二酸化炭素、泡、砂など
使ってはならない消火剤	: 水を用いる消火は火災を拡大させる恐れがある。
特有の危険有害性	: 燃焼時には有毒ガス発生のおそれがある。
消火を行う者の保護	: 消火作業の際には呼吸装置を着用して、消火剤で消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	: 処理作業の際には保護具を着用し、直接触れないように注意して作業する。
環境に対する注意事項	: 漏出した物質が河川、湖沼、海域及び養殖池、植栽地、畑作地に飛散、流入しないよう注意する。
回収・中和	: 床面などにこぼれた場合は直ちに拭きとり密閉容器に収納する。
二次災害の防止策	: 飛散した場所の周辺にはロープを張るなどして、人の立ち入りを禁止する。 風下では作業しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気	: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行うこと。
安全取扱い注意事項	: ラベルを良く読むこと 吸い込んだり目や皮膚に触れないよう長袖の作業衣、保護メガネ、不浸透性手袋、農薬用マスクを着用して、できるだけ風上から作業するようにする。作業後は手足、顔等を石鹸でよく洗い、うがいをすると共に衣服を交換する。
接触回避	: 「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管	
技術的対策	: 消防法の規制に従う。
混触禁止物質	: 「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管条件	: 密封し直射日光を避け、食品と区別して冷涼・乾燥したところに保管する。 原則として類を異にする消防法危険物と同一貯蔵してはならない。
容器包装材料	: データなし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	: ACGIH TWA 5 mg/m ³ (鉱油ミストとして) 2004年度版 日本産業衛生学会 TWA 3 mg/m ³ (鉱油ミストとして) 2004年度版
設備対策	: 局所排気装置の設置、設備の密閉化、または、全体換気を適正に行うことが望ましい。
保護具	
呼吸器の保護具	: 農薬用マスク
手の保護具	: 不浸透性手袋
眼の保護具	: 保護メガネ
皮膚及び体の保護具	: 定められた作業衣、安全靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	
形状	: 油状液体
色	: 淡黄色澄明
臭い	: データなし
pH	: データなし
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: 183°C (クリーブランド開放式)
爆発範囲	: データなし



蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
密度(比重)	: 0.84~0.87
溶解度(20℃)	: データなし
オクタノール/水分分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の取扱い条件において安定
危険有害反応可能性	
避けるべき条件	: 強酸化剤との接触を避けること。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口 ラット(♀) LD ₅₀ >2,000 mg/kg (2,000 mg/kgの試験において、死亡及び毒性が確認されなかったため、区分外とした) 経皮 ラット(♂♀) LD ₅₀ >2,000 mg/kg (2,000 mg/kgの試験において、死亡及び毒性が確認されなかったため、区分外とした) 吸入(ミスト) ATE値 1.5 mg/L (毒性未知成分2.0 %) (混合物のデータはなく、ATE算出値より区分4とした)
皮膚腐食性・刺激性	: 皮膚刺激性 ウサギ 刺激性なし (上記データより区分外とした)
眼に対する重篤な損傷性・刺激性	: 眼 刺激性 ウサギ 刺激性なし (上記データより区分外とした)
呼吸器感作性	: データがないため、分類できないとした。
皮膚感作性	: モルモット 皮膚感作性なし (上記データより区分外とした)
生殖細胞変異原性	: 混合物のデータはない。区分2に分類された成分を濃度限界1.0%以上含有しているため、区分2とした。毒性未知成分2.0%含有。
発がん性	: 混合物のデータはない。本混合物の98.0%の成分は区分外であるが、毒性未知成分2.0%を含有しているため、分類できないとした。
生殖毒性	: データがないため、分類できないとした。
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	: 混合物のデータはない。区分2(肺)に分類された成分を濃度限界10.0%以上含有しているため、区分2(肺)とした。毒性未知成分2.0%を含有。
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	: 混合物のデータはない。区分1(肺、皮膚)に分類された成分を濃度限界10.0%以上含有しているため、区分1(肺、皮膚)とした。毒性未知成分2.0%を含有。
吸引性呼吸器有害性	: 区分1に分類された成分を10.0%以上含有しており、さらに混合物の動粘性率(40℃)が20.5 mm ² /s以下であるため、区分1とした。

12. 環境影響情報

生態毒性	
水産動植物に対する影響	: コイ LC ₅₀ 260 mg/L (96時間) 材シヅコ EC ₅₀ 0.73 mg/L (48時間) 藻類 ErC ₅₀ 240 mg/L (24-72時間) (水生環境有害毒性(急性)は上記データから、区分1とした) (水生環境有害毒性(慢性)は急性が区分1であり、急速分解性を示すデータがないことから、区分1とした)
残留性・分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし



Science For A Better Life

作成日 2002.10. 1

改訂日 2017.11.16

発行番号 17

つくば (365日、9時~21時対応)

029-852-9999

029-851-9999
